

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホーム 五里  
 作成日 平成 30年 8月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	近隣の住民からの入居相談は受け止め、空きやお部屋についている。	デキサービスは10名から18名に増やし、在宅での介護をやりやすいようにする	お預りができるよう、家主の自費でスプリングローも設置する	2ヵ月
2	15	子供さんのおりんが、入居者が付く、友人も入居後、残り面会も少なく、漏報が不足している	知人の急な面会で、管理者不在の身もあるため、事前の面会の同時の調整をする	今度はいつ来るか、お預りか、と行報告の電話のついでに、お預りする	1ヵ月
3	25	精神科から退院して入居した利用者、将来への対応が難しい。	不眠やうつ、自殺願望等、難しいケースも多く、御家族の御力も難しいが、心身の状態をしっかり把握	自宅では、畑で野菜を作ったり、お茶を淹めたり、お散歩や散歩で遊んでいる。	3ヵ月
4	33	終末期に向けて、スタッフの意識を向上させる。	丁寧。管理者、主治医は命を守る姿勢もしているという自覚をスタッフに持つてもらおうと御力もお願いする	過去の看取り時の事をスタッフに話し、いつ誰がバンの場面か、お会いする、自覚にさせる。	6ヵ月
5	54	御夫婦で入居した方が、日々のケアや、不満等に対応するのが難しい。	日一カセハに、お預り入居して、深夜に異音が、御主人の居室へ行くか、お預り、御夫婦の不安の解消をお預り	バンの対応を工夫して、同室で就寝できるように工夫したら、お預りになるようにする。	2ヵ月